

④ おんどくのくぐうをしよう。

— おんどくのくぐうを考えて、ふき出したに かきこみましょう。

くぐうのしかた

○こねの 大きさ……小さく、大きく、よわく など

○よむ はやさ……ゆっくり、はやく など

○どんなふうによむか……元気よくよむ、なきそうなこえでよむ、あかるいこえでよむ など

どれが一つでもかけるといいね。」「がついてないところに、ヒントがたくさんあるよ！

どうしてそのようにくぐうするのかりゆいまで かんがえてみよう。

よが あけました。

あさの ひかりをあびて、竹やぶの 竹のはっぱが、

「さむかったね。」

おんどくのくぐう

くぐう 小さなこえでよむ。

「うん、さむかったね。」

おんどくのくぐう

竹やぶのさむさをいいます。

雪が まだ すこしのこっていて、あたりは しんと しています。

どこかで、小さなこえが しました。

「よいしょ、よいしょ。おもたいな。」

おんどくのくぐう

竹やぶの そばの ふきのとうです。

雪の 下に あたまを出して、雪を どけようと、

ふんばっているところですよ。

おんどくのくぐう

「よいしょ、よいしょ。そとが 見たいな。」

☆くぐうがかきおわったら、おんどくの れんしゅうしましょう。じゅんて かんがえた くぐうでよめよう。

むずかしいところは、ぬかしてもいいですよ。じゅぎょうで、みんなとはっぴょうしあいながら、こたえ合わせをします。でも、できるだけ、ちようせんしてみよう！ みんなならできます⑤

らまのとう フークシート3

くじうなむ「やへ

名まえ)

か おんどくのくじうをしよう。

「ごめんね。」

おんどくのくじう

と、雪が言いました。

「わたしも、早くとけて水になり、とおくへ行つてあそびたいけど。」
と、上を見上げます。

おんどくのくじう

「竹やぶの かげになつて、お日さまが あたらぬい。」

とざんねんそうです。

おんどくのくじう

空の上で、お日さまが わらいました。

「おや、はるかぜが ねぼうしているな。」

おんどくのくじう

竹やぶも 雪も ぶきのとうも、みんな こまつているな。」

そこで、南をむいて 言いました。

くじうして南をむいて言つたのだらうつ

「おつい、はるかぜ。おきなをい。」

おんどくのくじう

お日さまに おこされて、はるかぜは、大きな あくび。

それから、せのびして 言いました。

おんどくのくじう

「や、お日さま。や、みんな。おまちごお。」

はるかぜは、むねいっほい いきをすい、いっつと いきはきました。

☆くじうが かきおつたら、おんどくの れんしゆうしましよ。じぶんで かんがえたくじうでよもつ。

スキのとう フークシート4

くどう なおいやく

名まえ

か

おんどくのくじょうきしやう。

はるかぜにふかれて、

竹やぶが、ゆれるゆれる、おどる。

雪が、とけるとけるとける、水になる。

スキのとうが、ふんばる、せがのびる。

ふかれて、

ゆれて、

とけて、

ふんばって、

もじつ。

スキのとうが、かおを出しました。

「はんにちしやう。」

もう、すっかりはるです。

☆くじょうがかきおわたたら、おんどくのれんしゅうしましやう。じぶんでかながえたくじょうでよめう。

おんどくのくじょうきしやう

おんどくのくじょうきしやう

おんどくのくじょうきしやう

おんどくのくじょうきしやう